

俑の世界

2015年
7月14日(火)―7月26日(日)／
8月4日(火)―8月30日(日)

俑とは墓に副葬するために陶器などで作られた「ひとがた」のことですが、近年の中国では動物や建物などの副葬品も俑と呼んでいます。今回は前漢～唐時代の人物・動物・建造物の俑を中心に展覧します。時代ごとに大きく異なる俑の造形をお楽しみ下さい。

三彩 文官(部分) 唐時代・8世紀
大阪市立美術館 吉村芳野氏寄贈



仏教工芸

2015年8月8日(土)―8月30日(日)

仏教で礼拝の対象となる舎利・仏像・経典などを荘厳・供養するための器物は、制作当時の最良の素材と最高の技術、そして最新の意匠が用いられました。このような工芸史を彩る名品のうち、今回は金工品に焦点を当てて展示いたします。夏の一日、仏教工芸の清涼な世界をご堪能ください。

金銅 三鈷鈴 鎌倉時代・13世紀
本館蔵(田万コレクション)



輸出漆器 桃山～明治

2015年7月14日(火)―7月26日(日)／8月4日(火)―8月30日(日)



花鳥蔀絵螺鈿聖龕 桃山時・16世紀 個人蔵

日本の輸出漆器を展示します。16世紀の中頃、ポルトガル人宣教師がカトリックの布教のために渡来し、日本からヨーロッパへ漆器の輸出が始まります。キリスト教の祭具や箆笥や櫃などの調度品が蒔絵や螺鈿を用いて制作されました。日本の漆器

はヨーロッパの王侯貴族の間で好まれ、輸出はキリスト教の禁教、鎖国の後もオランダや中国を経由して輸出されました。

沈没船からの贈り物

2015年8月8日(土)―8月30日(日)

ベトナム～東南アジア周辺に沈んだ船から引き揚げられた陶磁器を展覧します。ベトナムのホイアン沈没船のベトナム陶磁をはじめ、コンダオ沈没船、ダイアナ号、カーマウ沈没船の中国清代の青花などを陳列します。涼やかな青花の藍色をご堪能下さい。



青花有蓋瓶ほか コンダオ沈没船引揚品 清時代・17世紀 個人蔵

螺鈿 中国・朝鮮半島・日本

2015年7月14日(火)―7月26日(日)／8月4日(火)―8月30日(日)

鮑や夜光貝を用いた漆器の装飾は中国・朝鮮半島・日本・タイなどアジアの諸国で盛んに行われていますが、地域や時代によって多彩に発展してきました。ここでは当館の収蔵品とご寄託品のなかから、各地の螺鈿漆器の優品をとりあげてご紹介したいと思います。



螺鈿 楼閣人物図長方盆 明時代・16-17世紀 本館蔵(田万コレクション)

堆朱・鎌倉彫・根来

2015年7月14日(火)―7月26日(日)／8月4日(火)―8月30日(日)

朱漆を塗り重ね図を彫り表した「堆朱」、文様を彫り漆を塗った「鎌倉彫」、黒漆を下塗り、朱漆を上塗りした「根来」、堆朱は漆を塗り重ね文様を彫り著した彫漆、鎌倉彫は木に文様を彫り漆を塗る彫木漆塗、根来は木の器に黒漆を下塗り、朱漆を上塗した漆器に用いられた呼び名です。ここでは当館ご寄託品から三つの技法の作品を選んで展示いたします。

重要文化財
鎌倉彫(彫木漆塗)牡丹文大香合
室町時代・15世紀 南禅寺蔵



大阪市立美術館 天王寺公園内

Osaka City Museum of Fine Arts

〒543-0063 大阪市天王寺区茶臼山町1-82

tel. 06-6771-4874 fax. 06-6771-4856

<http://www.osaka-art-museum.jp>

開館時間＝9:30～17:00(入館は16:30まで)

休館日＝月曜日(ただし月曜日が祝日の場合は翌日)



交通案内：地下鉄御堂筋線・谷町線、JR「天王寺」、近鉄南大阪線「大阪阿部野橋」、阪堺電軌上町線「天王寺駅前」下車、または市バス「あべの橋」下車、北西へ400m